

社会資本総合整備計画 (第9回変更)

北陸新幹線開業の効果と地域特性を生かした港と鉄道のまち“直江津”の賑わいの再生

平成 3 1 年 1 月

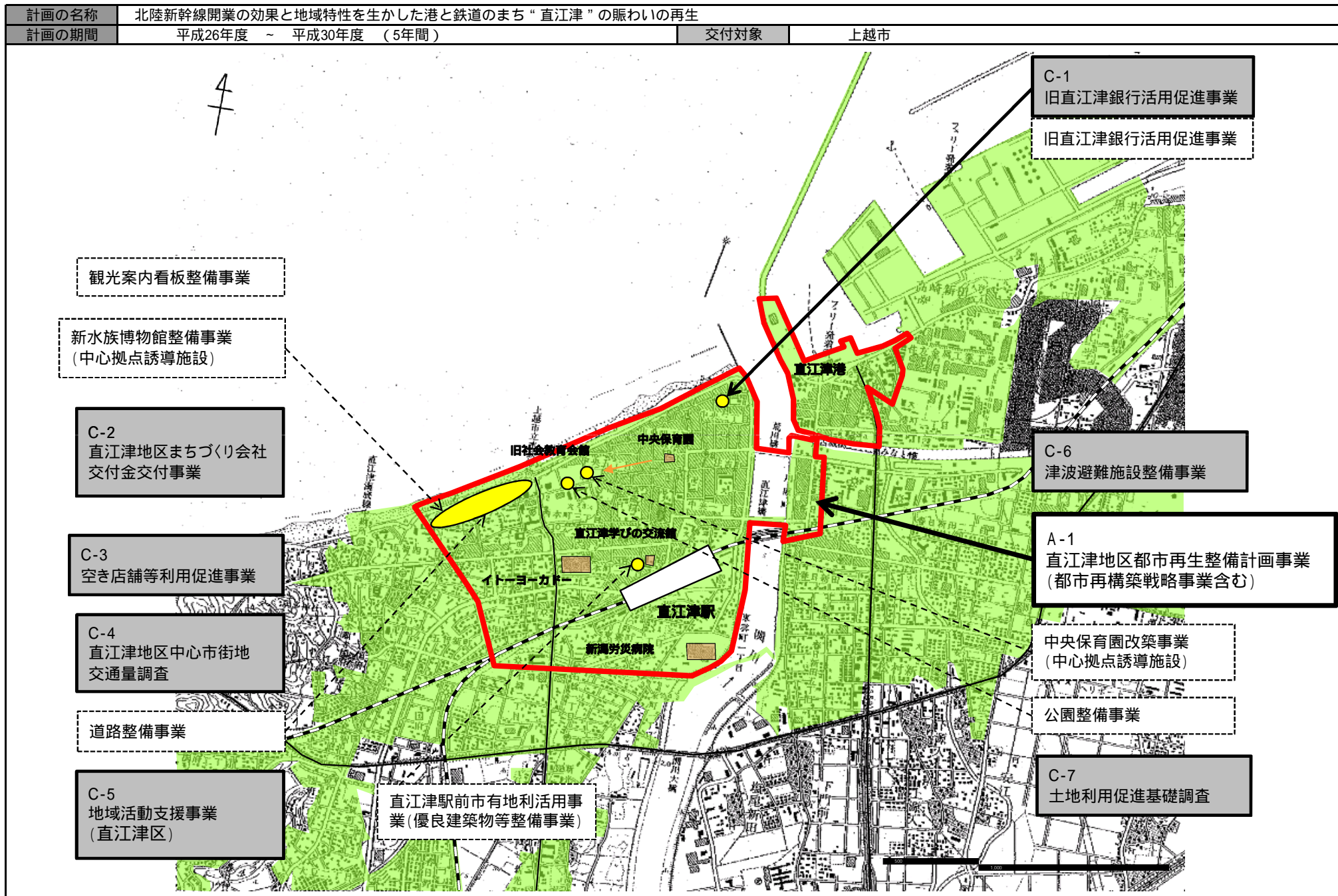
新潟県上越市

社会資本総合整備計画

平成31年1月

計画の名称										北陸新幹線開業の効果と地域特性を生かした港と鉄道のまち「直江津」の賑わいの再生					重点計画の該当																		
計画の期間										平成26年度～平成30年度（5年間）			交付対象		上越市																		
計画の目標										当市の中心市街地の一つで国内外への海・陸交通の要衝に位置し、子育て・学習関連施設が集約された直江津地区において、北陸新幹線の開業効果を最大限いかせるよう、地域特性を踏まえた拠点施設の整備と機能アップを進め、交流人口と流入人口の増加を図り、市内外の人が行き交い、学びあう「出会いと学びのまち」として再生する。																							
計画の成果目標（定量的指標）										<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地歩行者数を2,889人/日（H25）から4,050人/日（H30）に増加 ・上越市立水族博物館入館者数を182,186人/年（H24）から487,500人/年（H30）に増加 ・直江津地区計画区域に居住する若年人口（65歳未満）を6,912人/年（H25）から6,950人/年（H30）に増加 																							
定量的指標の定義及び算定式										定量的指標の現況値及び目標値					備考																		
										当初現況値 （H25当初）		中間目標値 （H27末）		最終目標値 （H30末）																			
5地点（第四銀行直江津西支店前、安国寺通り府中八幡宮付近、直江津駅前通り、直江津郵便局前、旧検察庁跡地前）における歩行者数を測定する。 $\{ (平日の歩行者数 \times 5 + 休日の歩行者数 \times 2) / 7 \}$ で算出する。										2,889人/日		3,000人/日		4,050人/日																			
上越市立水族博物館入館者数を調査する。 年間の入館者数を合計する。										182,186人/年 （H24）		182,186人/年		487,500人/年																			
直江津地区計画区域に居住する若年人口（65歳未満）を調査する。 住民基本台帳に基づき、直江津地区における関係町内会の居住人口を合計する。										6,912人/年		6,912人/年		6,950人/年																			
全体事業費										合計 (A+B+C+D)		4,139.7百万円		A		4115.8百万円		B		-		C		23.9百万円		D		-		効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)		0.6%	
交付対象事業																																	
A 基幹事業																																	
番号		事業種別		地域種別		交付対象		直接間接		事業者		要素となる事業名 (事業箇所)				事業内容 (延長・面積等)				市町村名		事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)		備考	費用便益比 B/C			
1-A-1		都市再生		一般		上越市		直接		上越市		直江津地区都市再生整備計画(都市再構築戦略事業)				中心拠点誘導施設、既存建造物活用、道路整備等				上越市		H26 H27 H28 H29 H30					4,115.8			-			
																				合計					4,115.8			-					
B 関連社会資本整備事業(該当なし)																																	
番号		事業種別		地域種別		交付対象		直接間接		事業者		要素となる事業名				事業内容 (延長・面積等)				市町村名		事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)		備考				
																						H26 H27 H28 H29 H30					0						
																				合計					0								
C 効果促進事業																																	
番号		事業種別		地域種別		交付対象		直接間接		事業者		要素となる事業名				事業内容				市町村名 港湾・地区名		事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)		備考				
1-C-1		イベント・施設整備		一般		上越市		直接		上越市		旧直江津銀行活用促進事業				施設見学会の実施、お休み処の開設等				上越市		H26 H27 H28 H29 H30					0.7						
1-C-2		活動支援		一般		上越市		間接		民間		直江津地区まちづくり会交付金交付事業				商店街及びまちづくり団体の行う事業への支援				上越市		H26 H27 H28 H29 H30					5.8						
1-C-3		活動支援		一般		上越市		直接		民間		空き店舗等利用促進事業				店舗整備費用の補助等				上越市		H26 H27 H28 H29 H30					4.7						
1-C-4		調査		一般		上越市		直接		上越市		直江津地区中心市街地交通量調査				歩行者等の交通量の調査				上越市		H26 H27 H28 H29 H30					1.4						
1-C-5		活動支援		一般		上越市		間接		市民活動団体		地域活動支援事業(直江津区)				市民団体等の行う事業への支援				上越市		H26 H27 H28 H29 H30					4.2						
1-C-6		調査		一般		上越市		直接		上越市		津波避難施設整備事業				古城地内への津波避難施設の整備に向けた検討				上越市		H26 H27 H28 H29 H30					2.1						
1-C-7		調査		一般		上越市		直接		上越市		土地利用促進基礎調査				空き地、駐車場、空き家、道路状況などの基礎調査				上越市		H26 H27 H28 H29 H30					5.0						
																				合計					23.9								
番号 一体的に実施することにより期待される効果																																	
1-C-1		基幹事業(A-1)により整備した旧直江津銀行を定期的に公開するとともに、朝市や周辺来訪者等をもてなす「お休み処」、各種イベント等に活用することにより、まちあるきの魅力が増し、来訪者の回遊性が高まる。																															
1-C-2		地元商店街やまちづくり団体を支援し、基幹事業(A-1)との相乗効果を生み出す地域活性化策を展開することにより、中心市街地における新たなビジネスチャンスと賑わいが創出される。																															
1-C-3		基幹事業(A-1)により流入人口と交流人口が増加する機会をいかし、地元商店街の空き店舗の解消を図ることにより、まちなかに活気を取り戻せる。																															
1-C-4		直江津地区中心市街地において、交通量(四輪車、二輪車、歩行者)調査を行い、基幹事業(A-1)等の賑わいの創出効果を把握することにより取組の改善を図る。																															
1-C-5		基幹事業(A-1)と一体となって、市民団体等による各種取組を支援し、来訪者をまちなかに呼び込む仕掛けや魅力ある地域づくりを進め、まちの元気を取り戻す。																															
1-C-6		海拔が低い古城地区に津波避難施設を設置し、居住環境の安全性を高めることにより、基幹事業(A-1)との相乗効果で居住地域としての質を高められる。																															
1-C-7		土地利用基礎調査により、基幹事業等の事業効果検証を行い、今後のまちなか居住推進に向けた施策の検討を図る。																															
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業(該当なし)																																	
番号		事業種別		地域種別		交付対象		直接間接		事業者		要素となる事業名 (事業箇所)				事業内容 (面積等)				市町村名		事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)		備考				
																						H26 H27 H28 H29 H30											

(参考図面) 市街地整備



【上越市】直江津地区都市再生整備計画事業

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	173.4	214.8	660.5	465.6	
計画別流用 増減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	173.4	214.8	660.5	465.6	
前年度からの繰越額 (d)	0	119.945	0	112.238	
支払済額 (見込みを含む) (e)	53.455	331.696	548.262	515.892	
翌年度繰越額 (f)	119.945	0	112.238	61.946	
うち未契約 繰越額 (g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	3.049	0	0	
未契約繰越 + 不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	
未契約繰越 + 不用率 が10%を超えている 場合その理由					